



A O B A N O K A Z E

あおばの風



民生委員制度は、平成29年に
制度創設100周年を迎えます



第70号

青葉区民生委員児童委員協議会

こんにちは 民生委員です



介護のなやみ

さまざまな人が暮らすまちには
楽しいことだけではなく
悩みや心配事などもあります



子育てのなやみ



高齢者の独り暮らし

誰に相談したらいいのかわからない
人に知られたくない、と
一人で悩んでいませんか？



暮らしのなやみ

民生委員児童委員は
みなさんの心配事や悩みを
解決できるように
各機関と連携を取り
地域福祉を支えています

困った時は、ご相談ください



青少年期のなやみ

解決のお手伝いは
次のページに



地域活動協力

あなたの地区の民生委員を知るには・・・

青葉区役所 福祉保健課 運営企画係
TEL 045-978-2433 FAX 045-978-2419

この広報紙は、区役所や地域ケアプラザにあります

回
覧

承認
青葉区第20号

かに



- ・防災訓練に協力
- ・災害時支援マップの作成
- ・高齢者交流会やサロンの運営
- ・施設ボランティア
- ・祭りや催事への協力
- ・その他

地域活動 協力



自治会 町内会

地域
防災拠点



災害時のために
「支えあいカード」とボトルを
ご案内します

学校

北部
児童相談所



18歳頃までの子育ての相談は
主任児童委員まで

包括支援 センター



介護やデイサービスには
プラザをご紹介します



子育てひろばですよー



ご出産おめでとうございます
こんにちは赤ちゃん訪問です

な機関と手を携えて
をめざします

主任児童委員だより

こどもの心と体を守ろう
ストップ・ザ・犯罪 第18回講演会 2016.7.6

～児童精神科医に聞く～ こどもの心

児童精神科医師 佐々木寧子(ねね)氏

子どもが困難に直面した時、その心は何を感じどのような行動につながっていくのか、私たち大人の関わり方を傷つけた多くの子どもたちに接してきた精神科医の佐々木寧子氏にうかがいました。

私たち大人ができること…

子育てでつらい時は、大人同士で愚痴を言い合い、子どもの成長を信じて、**あせらない・あわてない**。無力を感じた時は、**なんとかなる・なんとかできる**と楽観的に考え、自分を許しましょう。

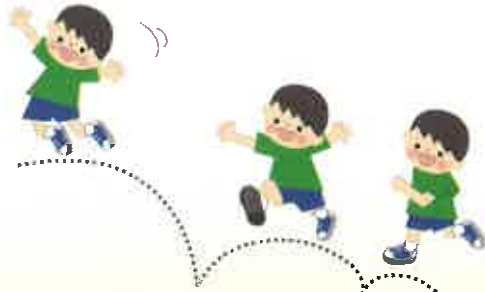
学童期(小学校の低学年・中学年)

社会のルールの中へと一歩を踏み出し、仲間との関係作りをしながら子どもなりのプライドが育っていきます。勉強ができるできない、足が速い遅いなど得手不得手がわかり、たくさんのエピソードを積み重ねていく中で挫折も経験します。見守る親としてはオロオロするでしょうが“学校や地域の方々子どもを育てていく”というスタンスが大切で、基本的にはドンと構えていきましょう。

思春期(小学校高学年から高校生まで)

その子らしさが明確になってくる時でもあり、誰しもが乗り越えてきた時期。私たち大人が思春期だった頃と生活環境が大きく違うため、どこまで柔軟に対応できるかが大切です。自分の内面や気持ちをわかって欲しい!わかられたくない!など自信のなさ大胆さが同居する時です。心が不安定になり精神障害が見られることもあります。

子どものパワーに圧倒され戸惑ったりする時も、**あきらめないで関わり続ける・待ってあげる**ことで子どもは心身ともに大きく成長していきます。



「自分の人生を再発見できるチャンスと思い、あきらめないで信じて進んでいきましょう」という先生の温かい言葉を胸に、子育てという長くて短い道のりをこれからも歩み続けたいと思いました。今できることをできるだけ、あきらめないで…

(奈良地区 田中、奈良北地区 荻野)

コラム あおばのかぜ

高齢者も“支える人”になれた!

先日、地域のいっとき避難場所で防災訓練が行われ、防災委員手作りの紙芝居が披露されました。その後、近所同士で助け合うための「近助」を意識して、3人がひと組になり車いすを使った避難訓練をしました。公園内のスロープや段差を利用して、車いすでの移動の仕方を学びました。高齢者が若い人たちの力を借りて車いすを押し、協力し合って上手く段差を乗り越えたり、急な坂道は後ろ向きで下ってゆくなど貴重な体験をしました。近所同士が互いに助け合うことで年齢を超えたつながりが更に深まったように感じました。

もうひとつは、高齢者サロンでのこと。80歳代の女性から、「最近増えてきている一人暮らしの高齢者を対象に“カレーランチ”はどうかしら、やってみたいので一緒にしませんか?」と素敵なアイデアが出されました。これは何とかしたいという思いで、さっそく最寄りの地域ケアプラザに提案しました。

この二つの事例から、高齢者も地域の担い手として欠かせない存在なのだ頼もしく思いました。
(谷本地区 豊崎 智子)



編集後記

今号は地域のみなさまに、民生委員児童委員ならびに主任児童委員の活動を知っていただくとの思いで紙面作りを心がけました。

最近、全国各地で自然災害が頻発しており、ますます「地域が繋がりが合った活動力こそが大切で心強い」と感じます。

私たちも、みなさまの協力を得てコミュニケーションを深めながら、日々の活動をより良いものにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。(村上)

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 広報部代表 | 豊崎 智子 | | |
| 70号担当 | 追川 朝江 | 大井 美智子 | 大久保 晴夫 |
| | 大原 義男 | 近藤 常美 | 田川 みちこ |
| | 長倉 奈知子 | 村上 希史子 | 山市 典子 |